

第67回定期大会 特集号

建設長崎

August
No.566

2012年8月15日
1部20円 組合員の購読料は組合費に含まず
印刷 (株)昭和堂 TEL 095 821 1234

発行 長崎県建設産業労働組合 〒852 8021 長崎市城山町17番58号 TEL 095 862 7121 FAX 095 862 5281 http://www.kensetunagasaki.org/ 発行責任者 北村政和 編集人 若杉孝雄

初の1日大会

建設長崎第67回定期大会

濃霧に包まれた雲仙の地で、建設長崎第67回定期大会が、初の1日の開催で7月14日に、雲仙小浜勤労者体育センターで開催されました。

早朝から県下15支部の代議員116名、特別代議員41名、本部役員45名、書記局49名、来賓33名と、五島から特別代議員1名が出席、来賓が25名臨席され、総数285名で開催しました。



県にリフォーム助成の創設を 仕事確保、組織拡大につなげよう!

大会では、平成二十三年度の活動経過報告、会計決算報告の承認、平成二十四年度の運動方針、会計予算の決定と本部役員を満場一致で選出し、仕事確保並びに組織拡大の実現を目指すことを確認しあい、幕を閉じました。

大会は午前九時三〇分、工藤副委員長の開会あいさつで始まり、司会者の田上書記長が大会仮議長を務め、諸役員の承認を受け、高谷大会運営・資格審査委員長が大会の成立を宣言しました。その後、議長団に市南支部の大宮武義さん、佐世保中央支部の西の勉さんを選出し、高谷大会運営委員長が議事日程を提案し、承認されました。

主権者を代表して、相川執行委員長より「厳しいときだからこそ、組合の原点を思い出してほしい」とあいさつをした後、来賓の皆さんからも激励のあいさつをうけました。

続いて、全建総連古市書記長より激励と情勢報告を兼ねた挨拶をいただき、議事に入りました。

次に、新年度の執行部を代表して相川執行委員長があいさつをし、大会スロガンの確認後、北村青年部長が力強く大会宣言を提案しました。

最後に丸田副委員長の閉会あいさつ、相川執行委員長の力強い団結がんばろうで、建設長崎第六十七回定期大会を終りました。

思い出深い 雲仙の地での 最後の大会

指すために、皆様のご協力をお願いしたい。」とあいさつをした後、来賓の皆さんからも激励のあいさつをうけました。

続いて、全建総連古市書記長より激励と情勢報告を兼ねた挨拶をいただき、議事に入りました。

次に、新年度の執行部を代表して相川執行委員長があいさつをし、大会スロガンの確認後、北村青年部長が力強く大会宣言を提案しました。

最後に丸田副委員長の閉会あいさつ、相川執行委員長の力強い団結がんばろうで、建設長崎第六十七回定期大会を終りました。

最後に丸田副委員長の閉会あいさつ、相川執行委員長の力強い団結がんばろうで、建設長崎第六十七回定期大会を終りました。

来賓紹介

全建総連 書記長	古市 良洋
全福岡県建設労働組合 執行委員長	原口 俊一
佐賀県建設労働組合連合会 執行委員長	乙成 治義
佐賀県建設労働組合連合会 副執行委員長	有森 徹
連合長崎 副事務局長	佐竹 明彦
長崎県平和運動センター 事務局長	坂本 浩
長崎地区労働組合会議 議長	平野 忠司
長崎県労働者福祉協議会 事務局長	桝田 憲二
九州労働金庫長崎県本部 本部長	中崎 幸夫
全労済長崎県本部 専務執行役員	友知 辰次
長建木材供給(株) 取締役部長	水芦 孝巳
長崎県職業能力開発協会 専務理事	日高 春夫
建設長崎 元執行委員長	前田 富雄
建設長崎 前執行委員長	金子三智郎
民主党長崎県総支部連合会 代表代行、参議院議員	大久保潔重
衆議員議員	高木 義明
衆議院議員	宮島 大典
山田正彦衆議院議員 秘書	每熊 政夫
福田衣里子衆議員議員 秘書	西田 英司
社会民主党長崎県連合 代表、長崎県議会議員	吉村 庄二
長崎県議会議員	楠 大典
長崎県議会議員	浜口 俊幸
長崎県議会議員	高見 健
長崎市議会議員	池田 章子
長崎市議会議員	野口 達也
諫早市議会議員	田添 政継
大村市議会議員	村上 信行
島原市議会議員	草野 勝義
佐世保市議会議員	早稲田 矩子
佐世保市議会議員	速見 篤
南島原市議会議員	金子憲太郎



大会出席者数	一一六名
特別代議員	四十二名
執行部	四十五名
書記局	四十九名
来賓	三十三名
合計	二八五名

大会諸役員 (敬称略)

【大会議長】



大宮 (市南支部) 西野 (佐世保中央支部)



前田選挙管理委員長 高谷大会運営委員長 兼資格審査委員長

【大会書記】



松園俊輔 (西彼担当) 池田 剛 (浦上西担当)

建設長崎第67回定期大会スローガン

- 年間組織拡大300名を実現し、組織強化を図ろう。
- ふれあい行動の実践で組織の内部点検強化を図ろう。
- 青年部・主婦会の育成と充実を図り、組織拡大の裾野を広げよう。
- 県下全域に住宅リフォーム助成制度の創設と拡充で、仕事確保を図ろう。
- 適正な賃金・工事単価確保のため、公契約条例を制定させよう。
- 魅力ある建設産業を担う、若年技能後継者育成と技能向上を図ろう。
- 長建国保の安定的な育成強化と組合員家族の健康増進を図ろう。
- 組合員の福祉向上を図るため、福祉共済制度の健全運営に努めよう。
- 労働安全対策の強化で、労働災害の撲滅と労災未適用現場をなくそう。
- 全建総連の仲間と連帯し、消費税引き上げ・大衆増税に反対しよう。
- 平和憲法と民主主義を守り、「核に依存しない21世紀」をめざそう。
- 組合新聞「建設長崎」の紙面を充実させ、魅力ある新聞にしよう。



執行委員長 相川 哲男

第67回定期大会 執行委員長あいさつ

皆様からお預かりした、東日本大震災復興義援金を全建総連の林書記次長に託しました。

しかし、未だに、被災地では、死亡・行方不明者は

また、建設国保補助金獲得の取り組みでは、各支部で、予算要求八ガキ行動に真剣に取り組みで頂き、その結果、建設国保全体では三千二百二十二億三千万円を確保し、長建国保においても昨年度の補助水準に見合った、二十三億二千万円の予算を確保することができました。

私たちが、厳しい時代だからこそ、「組合の原点に立ち返り」、「助け合う精神」を忘れることなく、引き続き、「仕事確保」、「賃金・労働条件の改善」、「建設国保の育成強化と社会保障制度の拡充」など、若年技能後継者が育つ環境づくりの推進と、併せて、諸要求実現に向けた、新たな運動方針を決定頂きますよう、お願い申し上げます。

建設長崎・第六十七回定期大会を開催するにあたり、ごあいさつを申し上げます。

本日は、早朝から、この雲仙の地に、県下十五支部を代表して、代議員・青年部・主婦会の皆様、更には公私とも大変「多用の中、ご来賓の皆様には、ご臨席を賜り、誠にありがとうございます。

日頃から、当組合の諸活動にご支援・ご協力を頂いております事に、改めて、感謝を申し上げます。

昨年七月に開催しました、第六十六回定期大会では、

更に、仕事確保対策では、推薦議員団・皆様のお力添えを頂きながら、県内の八つの市において、住宅リフォーム助成制度が実施されるようになりました。

特に今年四月からは、大村市においても実施され、組合員の仕事確保に大いに利用されています。

新年度の運動方針には、私たちの要求実現のためには、組織の強化拡大を図る取り組みの重要性を訴えてまいります。

併せて、組合員の仕事確保対策と建設国保の予算獲得運動の取り組みを、重点に提案いたします。

平成二十四年度の政府予算は、一般会計総額九十兆三千三百二十九億円に上っており、住宅着工戸数は八十八万三千戸と予想されています。長崎県での公共工事費は、九百四十四億四千四百円が計上され、小規模改修工事費も十億円が予算

指導の受診率の向上など、取り組みなければならぬ課題が山積しております。

私たちの生命と健康を守る建設国保は、組織の存続にも大きく関わっており、技能後継者が育つ環境づくりの推進と、併せて、諸要求実現に向けた、新たな運動方針を決定頂きますよう、お願い申し上げます。

引き続き、「仕事確保」、「賃金・労働条件の改善」、「建設国保の育成強化と社会保障制度の拡充」など、若年技能後継者が育つ環境づくりの推進と、併せて、諸要求実現に向けた、新たな運動方針を決定頂きますよう、お願い申し上げます。



祝電・メッセージ (順不同・敬称略)

連合長崎	小石 隆	山梨県建設組合連合会	深澤 俊雄
衆議院議員	高木 義明	長野県建設労働組合連合会	林 衛
衆議院議員	山田 正彦	全建総連岐阜建設労働組合本部	嶋田 繁
衆議院議員	福田衣里子	全建総連静岡県建設労働組合	伏見 千歳
参議院議員	宮島 大典	愛知県建設労働組合連合会	久野 弘
衆議院議員	大久保潔重	全愛知建設労働組合	山田 正巳
長崎県議会議員	浜口 俊幸	三重県建設労働組合	三川 光孝
長崎市長	山田 博司	滋賀県建設労働組合	西野 哲夫
長崎市長	田上 富久	全京都建設労働組合	吉岡 徹
諫早市長	宮本 明雄	大阪建設労働組合	関谷 英雄
大村市長	松本 崇	兵庫建設労働組合連合会	貴田 博明
南島原市長	藤原 米幸	奈良県建設労働組合	中嶋 弘
雲山市長	奥村慎太郎	奈良県建設業振興会	栗山 司
西海市長	田中 隆一	和歌山県建設労働組合	波多野和美
佐世保市長	朝長 則男	鳥取県建設労働組合	渡辺 行雄
松浦市長	友友 郁洋	鳥根県建設労働組合	津森 強
平戸市長	黒田 成彦	岡山県建設労働組合	石部 明
時津町長	吉田 義徳	広島県建設労働組合	安元 弘道
全建総連北海道建設労働組合連合会	松島 磯巳	建設山口	田村 豪勇
岩手県建設労働組合連合会	齋藤 徳重	徳島県建設労働組合	西岡 孝義
秋田県建設労働組合	佐藤 正治	フレッセ	尾方 巧
山形県建設労働組合連合会	三浦 一男	香川県建設労働組合	中西 孝司
福島県建設労働組合連合会	宮地 明	愛媛県建設労働組合	高岡 聖泰
茨城県建設労働組合	中野 進	高知県建設労働組合	杉本 義忠
群馬県建設労働組合連合会	森田 良雄	福岡県建設労働組合	下川 一雄
建設埼玉	吉田 三男	佐賀県建設労働組合連合会	乙成 治義
埼玉土建一般労働組合	鈴木 稔	熊本県建設労働組合	楠元 繁芳
千葉土建一般労働組合	須木 時夫	大分県建設労働組合	長濱 泉
全建総連東京都連合会	佐脇 政幸	宮崎県建設労働組合	吉行 博己
首都圏建設産業ユニオン	内藤 勝義	九州地方建設労働組合協議会	楠元 繁芳
神奈川県建設労働組合連合会			

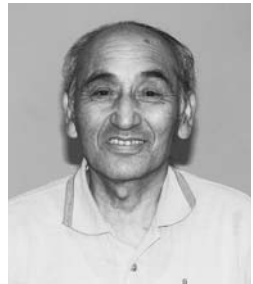
第67回

定期大会に参加して!



改めて感じた大きさと重要性

西彼支部
濱本 勝之



もと予定時間を大幅に短縮して、終了。最後に、相川執行委員長の力強い団結が、んばろうで締めた。私もこの大会に何度か出席させて頂きましたが、来賓の方に国会議員、県議、市議各関係団体の方々のご出席と各方面からの祝電メッセージの多さに毎回感心致しております。改めてこの大会の規模の大きさと重要性を感じております。

貴重な体験、積極的に参加

浦上西支部
林田 広信



初めて大会に参加させてもらいました。普段なかなか会話ができない組合員さんともコミュニケーションがとれ、貴重な体験をさせて頂きました。今後は、活動にも積極的に参加していこうと思います。

建設的な意見・勉強になった

平戸支部
大石 義孝



私もこの大会に参加するのは五、六回目だと思えます。年々景気低迷で、組合員減少とともに苦しい日々を強いられているのが現状です。今日は我々の現場の声を聞いてもらって、建設的な意見が多く出て大変勉強になりました。これからも厳しい年が続きますが、頑張りたいと思います。

組織拡大運動に努めたい

東長崎支部
木村 博之



今回初めて定期大会に参加して、組合員の方々の熱

経費見直しはできる所から

佐世保東支部
茅原 喜人



今年大会は、初の一日での開催ということで、質疑など充分にできるのかと、思っていました。終わってみると、質問等があった

青年部でも意見交換を

北松支部
池本 英樹



今回初めて参加しました。が、雲仙の道は霧で厳しく、

機会があればまた参加したい

市南支部
山崎 敏光



今回、初めて定期大会に参加して、今まで知らなかった組合費の使われ方や活動を知ることが出来、勉強になりました。また、機会があれば参加したいと思います。

拡大には懇親会が不可欠

諫早支部
後田 博幸



組織拡大と脱退防止をすすめるためには懇親会が不可欠だと思えます。そのための予算をお願いします。

活発な討議で勉強になった

島原支部
田中 努



今回二回目の参加になりましたが、組合員皆様の様々な意見、要望とそれに対する答弁を聞くことができて大変勉強になりました。この経験を活かして組合員皆様と一緒に組合活動へ取り組んでいきたいと思えます。

拡大運動の重要さを再確認

大村支部
岩永 磐雄



支部や分会の活動には積極的に加わり支部役員も努めています。定期大会の参加は初めての体験であり、参加して初めて知る事もあり、代議員皆さんの活発な「意見」があり、また、拡大運動に力を入れたことはと再確認しました。

親睦ある二日間の大会開催を望む

中央支部
吉岡 照國



今年より一日での開催ということで本会議場で、代議員の皆さんからいろいろ意見が出されていましたが、私としては、やはり以前の様な二日間の開催が、各支部の皆さんと親睦も深めつつ、小さく別れて行う会議もあつた方が、多くの方々が意見等も言えて良いのではと感じました。

仲間の絆を改めて強く感じた

大浦支部
松尾 哲夫



いと実感しました。熱心な討論や親睦を深める宴会を目にして、改めて仲間の絆を強く感じました。私も仲間の一人として、今後も自分のできる範囲で協力・努力していきたいと思えます。私たちの仕事に誇りと生き甲斐を持つように仲間の皆様、共に頑張っていきたいと思います。

大会一日開催はスムーズで良かった

佐世保北支部
多胡 寿文



今年も定期大会に参加させて頂きました。一日目は天気が悪いという霧が深くびっくりました。例年までは二日間の大会

仕事確保を危惧

佐世保中央支部
竹村 良孝



私は、この大会に何回か参加させてもらいました。毎回活発な意見が出て、執行部からの明確な回答があり、大変有意義な大会であつたと思つた。しかし、考えさせられる質疑応答もあり、これから先の仕事確保が実際には、難しいことがあるのではないかと思つています。

長崎でも参加したい

浦上東支部
材木 賢一



霧が深く濃い中の大会で、雲仙まで、大変でした。しかし、皆さんの真剣な討議に参加して良かったと思ひました。雲仙の大会は最後と聞きましたが、今後、長崎で開催予定と聞きましたが、長崎での大会も参加したいと思ひます。

活発な質疑応答に圧倒。色々学び経験。

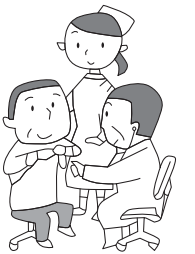
書記局
坂口 友廣



これから色々学び、経験しながら一つでも多くの皆様のお役に立てるようにならないといけないと思つた一日となりました。

今回、初めて定期大会に参加させていただき、組合員の皆様と執行部の活発な質疑応答に圧倒されるとも、身が引き締まる思いになりました。まだまだ未熟な私ですが、

平成24年度巡回健診 実施のお知らせ



平成二十四年度の巡回健診も全日程の半分を終了しました。残り五会場、近くにお住まいで、まだ特定健診を受けられていない方は、是非巡回健診を活用しましょう。

受診申込方法

受診ご希望の方は、所定の「巡回健康診断申込書」にご記入の上、各会場の申込期限(左記参照)までに所属支部、もしくは長建国保までお申込下さい。お申込はFAX(095-861-6464)及び郵送(〒851-8022長崎市城山町二五二六 長建国保)でも受け付けています。

受診に必要なもの

受診当日には左記のものを健診受付窓口へお持ち下さい。
特定健康診査受診券(無料で受診できます)、保険証、質問票(記入してお持ち下さい)
実費(選択検査項目申込者のみ)、その他検査に必要なもの(検査用容器など)

巡回健診の検査項目

「基本検査項目」の他、希望者は「選択検査項目」も受診することができます。
《基本検査項目》(受診者全員:自己負担なし)
身体測定、血圧測定、医師問診、肝機能検査、尿検査、血液検査、脂質検査、血糖検査、痛風検査、胸部レントゲン検査、貧血検査、心電図検査、視力・聴力

《選択検査項目》(希望者のみ:全額自己負担)
前立腺がん検査...二、〇〇〇円
胃がん検査(ペプシノーゲン)...二、五〇〇円
大腸がん検査...一、三〇〇円
肝炎検査(B型・C型)...三、三〇〇円
子宮頸がん検査(自己採取法)...一、五〇〇円
喀痰細胞診(肺がん三日間蓄痰)...三、五〇〇円
平成二十四年度巡回健診実施予定会場(左記会場の中からお選び下さい。)

実施日	時間	会場	申込締切日
平成24年9月9日(日)	9時~13時	長崎県立総合体育館	平成24年8月27日(月)
平成24年9月16日(日)	9時~13時	佐世保市民会館	平成24年9月3日(月)
平成24年9月22日(土)	9時~13時	佐々町文化会館	平成24年9月10日(月)
平成24年9月23日(日)	9時~13時	島原文化会館	平成24年9月10日(月)
平成24年10月7日(日)	9時~13時	平戸文化センター	平成24年9月24日(月)

詳しくは五月にお送りしました受診券に同封しておりますパンフレットを参照下さい。

木造建築物作業主任者講習開催のお知らせ

現場作業に必要な標記の講習会を次の要領で開催します。是非、受講されますようお知らせします。尚、10名以下の場合、延期する場合があります。

開催日及び会場

地区	日程	会場
諫早地区	平成24年10月11日~12日(2日間) 午前9時00分~午後5時00分 (受付開始午前8時30分より)	建設長崎大村支部 (大村市玖島1丁目49-2) TEL0957-53-8385

受講資格

- 木造建築物の構造部材の組立て又はこれに伴う屋根若しくは外壁下地の取付け作業(次号において「構造部材の組立て等の作業」という。)に3年以上従事した経験を有する者
- 学校教育法による大学、高等専門学校又は高等学校において土木又は建築に関する学科を専攻して卒業した者で、その後2年以上構造部材の組立て等の作業に従事した経験を有するもの
- その他労働大臣が定める者

講習科目

- イ. 木造建築物の構造部材の組立て、屋根下地の取付け等に関する知識
- ロ. 工事中設備、機械、器具、作業環境等に関する知識
- ハ. 作業者に対する教育等に関する知識

二. 関係法令

講習料

建設長崎組合員 6,000円、組合員以外 8,000円(テキスト代込み)

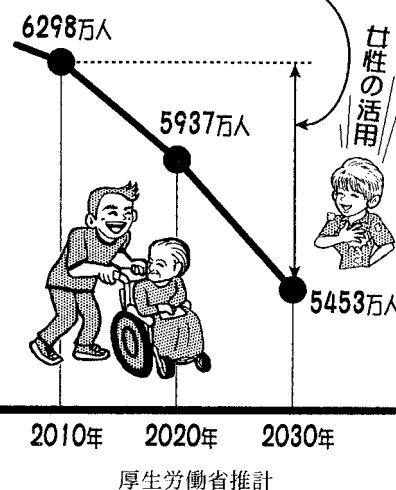
受付方法

申請書、写真2枚(サイズ2.5cm×3.0cm)と講習料を10月9日迄に学院本部か各支部で受付。締切り後の申込受付はできませんのでご注意ください。

学院発行の作業主任者手帳取得者は、加筆するので手帳も一緒に提出のこと。

問い合わせ先 長崎県建設技術専門学院本部
TEL095-861-9261

2030年の就業者数 845万人減



厚生労働省推計

職場に役立つ 労働統計

ゼロ成長が続く、若者や女性、高齢者を働き手として十分活用できなければ、二〇三〇年の就業者数は一〇年に比べて八四五万人程度減少する。厚生労働省がこんな推計を発表しました。二〇一〇年の就業者数は六一九八万人(実績値)で、二〇三〇年には五四五万人にまで落ち込むと推計。男女別では、男性約四九〇万人、女性約三五〇万人が減少するとしていますが、厚生労働省の雇用政策を議論する有識者研究会がまとめました。

職場と数字 — 楽観見通しも

実質成長率を-%見込み、若者や女性、高齢者の活用がうまく進んだときの推計も発表しました。一〇年の六二九八万人から二〇年は約九万人減少、三〇年は約二二万人減少と、減少幅が抑えられるとしています。厚生労働省は、医療や介護など高齢者の需要を取り込んだ産業育成が急務としています。



